

平成27年度施策評価調書

整理番号	14
評価担当課	建設水道部上下水道室工務課、浄水場
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	安定供給の確保		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	10	上水道・簡易水道の整備

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	水道未普及地域の解消を目指すとともに、水道利用者へ安定した水道水の供給と安全でおいしい水道水を提供します。また、健全経営を維持するために、有収率の向上に努めます。さらに、震災などの災害時にも対応できるよう、耐震性に優れた水道施設を整備し、防災体制の確立を図るとともに、ライフラインとしての機能の向上を推進します。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	長期安定供給できる水源の確保と包括・統合による送水管の新設に取り組むとともに、上水道給水区域内の老朽管更新と配水管網整備を行っている。浄水場施設についても、計画的に設備の更新及び修繕を行い施設の機能維持に努めている。
施策の課題	昨今の国の情勢からも、国庫補助事業及び交付金の減額が予想される上に、近年の節水傾向及び人口減少に伴い、料金収入の減少が見られるため、水道事業会計の健全経営には事業費の削減を余儀なくされることも考えられるため、計画通りに整備を進めることが困難になってくると思われる。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
送水管新設	緑丘浄水場から風連地区への送水管の新設(km)	目標値				
		実績値			3.90	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
配水管網整備	配水管網整備延長(km)	目標値				
		実績値	1.67	1.72	0.94	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
老朽管更新整備	配水管更新整備延長(km)	目標値				
		実績値	5.15	5.55	3.36	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
緑丘浄水場・取水施設改修事業	計画に基づいた浄水場及び取水施設の改修事業(件数)	目標値	2	5	6	
		実績値	2	5	7	
		進捗率	100%	100%	117%	
旧簡易水道改修・修繕事業	ソフト統合した旧簡易水道施設の改修(件数)	目標値	0	0	0	
		実績値	0	0	0	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	水道利用者、及び利用希望者へ安定した水道水の供給と安全でおいしい水道水を提供するため、計画的に整備を進めている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

水道利用者及び利用希望者へ安定した水道水の供給と安全でおいしい水道水を提供するため、引き続き整備を行います。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	上水道第2期拡張事業	安定供給への水源確保と、区域拡張・統合の配水管、送水管整備	23,100	a	a	a	a	a	A		
2	配水管網整備事業	配水管網整備による水道利用者及び利用希望者への安定供給と未整備地区の早期解消	25,641	a	a	a	a	a	A		
3	老朽管更新事業	配水管更新整備による長期安定供給と資源有効利用の促進	182,057	a	a	a	a	b	A		
4	緑丘浄水場・取水施設改修事業	浄水場施設・機器更新を図ることにより将来に渡る安定給水体制の維持	23,601	a	a	a	a	a	A		
5	旧簡易水道改修・修繕事業	平成20年度にソフト統合をした旧簡易水道を今後も活用していくため、必要な改修を行うことにより、今後も安定給水が可能となる	0								

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

簡易水道改修・修繕事業

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	上下水道室工務課上水道係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	上水道第2期拡張事業			
総合計画の位置づけ	① 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	1	安定供給の確保
		実施計画事業	1	水道水源の確保

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	平成7年度からの継続事業で、給水量増加の現状で今後も多様化する利用形態による需要増加と、区域統合および郊外未整備地区の区域拡張を実施			
対象(何を又は誰を)	水道利用者及び利用希望者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	安定供給への水源確保と、区域拡張・統合の配水管、送水管整備			
意図(どのような成果を期待しているか)	上水道区域統合及び拡張における安定供給の促進			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	H7 年度	終期設定	① (終期 H35 年度) ・ 無
根拠法令・条例等	水道法、名寄市水道事業給水条例、名寄市簡易水道事業条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 送水管新設	km	目標					
			実績			3.9	2.9	
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 送水管新設	km	目標					
			実績			3.9	2.9	
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	23,100	148,046	155,000	送水管新設工事(3工区) L=3,950m C=148,046千円
国道支出金		7,666	49,348	50,000	
地方債		15,400	98,600	105,000	
その他					
一般財源		34	98		
人件費	0	6,629	6,629	6,629	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数		1.00	1.00	1.00	
総事業費	0	29,729	154,675	161,629	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	520	104	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1		37	53	総事業費(千円)÷整備延長(m)
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 () <input type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。 水道事業者として、水道利用者への水道水の安定した供給及び水質の確保を図る必要がある。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	現在、地下水を水源とする風連地区への将来にわたる安定給水や水質を確保するため、河川水を水源とする緑丘浄水場から風連地区への送水管の新設は有効な手段である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	現在、管路の耐震化が求められる中、耐震管と言われる中でも、コストが一番低い管種を採用しコスト削減を図っている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	水道利用者からの料金収入にて水道事業会計を経営しており、受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	当初の計画通り事業を実施していることから順調と判断した。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	将来にわたる安定給水や水質を確保するために必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	上下水道室工務課上水道係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	配水管網整備事業			
総合計画の位置づけ	① 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	1	安定供給の確保
		実施計画事業	5	配水管網整備の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	道路改良工事に併せた配水管新設を行うことにより、生活環境整備と未利用者への普及			
対象(何を又は誰を)	水道利用者及び利用希望者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	配水管網整備の計画的な推進			
意図(どのような成果を期待しているか)	安定供給と未整備地区の早期解消			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 ①(請負) その他()			
事業実施期間	始期	S19 年度	終期設定	①(終期 H33 年度) ・ 無
根拠法令・条例等	水道法、名寄市水道事業給水条例、名寄市簡易水道事業条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 配水管網整備	km	目標					
			実績	1.67	1.72	0.94	0.80	
	2		目標					
			実績					
成果指標	1 配水管網整備	km	目標					
			実績	1.67	1.72	0.94	0.80	
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	24,350	25,641	21,146	17,000	配水管網整備工事(7路線) L=936m C=21,146千円	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	24,350	25,641	21,146	17,000		
人件費	10,025	9,944	9,944	9,944		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	1.50	1.50	1.50	1.50		
総事業費	34,375	35,585	31,090	26,944		
対前年比(%)	—	104	87	87	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	15	15	23	21	総事業費(千円)÷整備延長(m)
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 () <input type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。水道事業者として、水道利用者及び利用希望者への水道水の安定供給及び水質の確保を図る必要があると考える。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	配水管網整備により、水道未普及地域の解消を図る。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	現在、管路の耐震化が求められる中、耐震管と言われる中でも、コストが一番低い管種を採用しているほか、道路改良工事に併せて整備を行い、舗装復旧費を削減する等、コスト削減を図っている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	水道利用者からの料金収入にて水道事業会計を経営しており、受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	当初の計画通り年間25,000千円前後での整備を毎年実施しているため順調と判断した。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	水道未普及地域の解消のために必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	上下水道室工務課上水道係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	老朽管更新事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	1	安定供給の確保
		実施計画事業	5	配水管網整備の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	更新により、流速急変・漏水事故及び断水工事で発生する濁水等が解消され、耐震性を向上させることで、良質な飲料水の安定供給を行う。			
対象(何を又は誰を)	水道利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	配水管更新整備の計画的な推進			
意図(どのような成果を期待しているか)	長期安定供給と資源有効利用の促進			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	有 (終期 H33 年度) ・ 無
根拠法令・条例等	水道法、名寄市水道事業給水条例、名寄市簡易水道事業条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
	1	2			実績	実績	実績	実績	実績
活動指標	1	老朽管更新整備	km	目標					
				実績	5.15	5.55	3.36	1.74	
	2				目標				
実績									
成果指標	1	老朽管更新整備	km	目標					
				実績	5.15	5.55	3.36	1.74	
	2				目標				
実績									

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	203,712	182,057	81,340	80,900	老朽管更新工事(11路線) L=3,362m C=81,340千円	
国道支出金	24,520	22,122	4,708	9,866		
地方債	176,200	159,900	76,614	71,034		
その他	1,793					
一般財源	1,199	35	18	0		
人件費	10,025	9,944	9,944	9,944		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	1.50	1.50	1.50	1.50		
総事業費	213,737	192,001	91,284	90,844		
対前年比(%)	—	90	48	100	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	40	33	24	46	総事業費(千円)÷整備延長(m)
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 () <input type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。水道事業者として、水道利用者への水道水の安定供給を図る必要があると考える。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	配水管更新整備は、漏水事故による断水等を減少させ、水道利用者への水道水の安定供給を図るとともに、健全経営を維持するための、有収率の向上に有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	現在、管路の耐震化が求められる中、耐震管と言われる中でも、コストが一番低い管種を採用しているほか、道路改良工事に併せて整備を行い、舗装復旧費を削減する等、コスト削減を図っている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	水道利用者からの料金収入にて水道事業会計を経営しており、受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	水道事業会計の健全経営の為、平成26年度から事業費の圧縮を図っているが、年平均4.0km程度の整備を行ってきているため、概ね順調と判断した。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	水道利用者へ水道水の安定供給のために必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	4
評価担当課・係・職名・氏名	上下水道室浄水場管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	緑丘浄水場・取水施設改修事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	1	安定供給の確保
		実施計画事業	3	浄水場の機能向上・維持改修

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	浄水場施設・機器更新を図ることにより、将来にわたる安定給水体制を維持する。			
対象(何を又は誰を)	給水区域内の水道使用者及び使用希望者。			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	浄水場及び取水施設改修事業の計画的な推進。			
意図(どのような成果を期待しているか)	将来にわたる安定給水体制の維持。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 (請負) その他()			
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	(有) (終期 33 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 緑丘浄水場・取水施設改修事業	件	目標	2	5	6	1	
			実績	2	5	7	1	
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 緑丘浄水場・取水施設改修事業	件	目標	2	5	6	1	
			実績	2	5	7	1	
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	15,960	23,601	29,765	6,221	
国道支出金					
地方債	4,400	10,800	17,300	6,200	
その他	10,112	5,712			
一般財源	1,448	7,089	12,465	21	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	15,960	23,601	29,765	6,221	
対前年比(%)	—	148	126	21	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	水道利用者が求める安全で安心な水道水の安定供給及び水質の確保。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	計画的に設備の更新及び修繕等を実施しているので有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	老朽化した機器の更新をする事によって、修繕費等の削減が見込まれます。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	料金収入にて水道事業を運営しており、受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	概ね順調に推移している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	安定給水体制を維持するために必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	5
評価担当課・係・職名・氏名	上下水道室浄水場管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	旧簡易水道改修・修繕事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	1	安定供給の確保
		実施計画事業	4	安定供給能力向上の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	平成20年にソフト統合をした旧簡易水道の浄水場を今後も活用していくため、必要な改修を行うことにより、今後も安定給水が可能となる。			
対象(何を又は誰を)	各旧簡易水道給水区域内			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	国庫補助事業を友好的に活用し事業を推進します。			
意図(どのような成果を期待しているか)	水道水の安全・安定供給			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 (請負) その他()			
事業実施期間	始期	H29 年度	終期設定	(有) (終期 H30 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (H29 年度)	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
活動指標	1 川西浄水場改修			目標	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
成果指標	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	将来にわたる水量・水質の安定供給を目指します。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	水道利用者への安定供給のため遠方監視及び水量・水質の監視体制を強化することが有効な手段です。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	老朽化した設備に、より精度の高い機器等を導入する事により、将来的にコストの削減に繋がります。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	料金収入にて水道事業を運営しており、受益者負担は適正です。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	概ね順調に推移している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	安定給水体制を維持するために必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり